

市民・事業者・行政が協働して環境保全都市を実現するひらかた環境ネットワーク会議会報誌

NO. 56
冬号
平成 30 年
(2018)

環境ひらかた



明けまして おめでとうございます

みなさまには新年を健やかに迎えのこととお慶び申し上げます。

さて、コマーシャルではありませんが「そうか平成 30 年か!」と、思わず声に出して言ってしまうそうです。というのも間もなく平成が終わりを迎えることが決まったからです。昭和の時代に比べ半分にも満たない短い時代ではありましたが、まさに激動の時代と言っても過言ではなく、様々な事件・異変・変化がありました。

人間は“忘れることができる”という能力を神様からいただいています、決して忘れてはいけないこともたくさんあります。忘れてはいけないことを教訓とし、次の時代が平和で豊かな時代になることを願い努力をしていきたいと思っています。



*****目次*****

新年あいさつ	P 1
エコフォーラム2018	P 2
ごみ減量アイデアコンテスト報告	P 3
各部会報告	P 4・5
お知らせコーナー	P 6
環境トピックス VOL. 22	P 7
ちょっとお得なエコライフ情報	P 8

今年も盛りだくさんの取り組みを展開していくワン!

まずは2月3日のエコフォーラムだワン!

来場を待っているワン!



エコフォーラム 2018

～今年も開催エコフォーラム～



※写真は昨年開催のエコフォーラムの様子です



枚方市市政施行 70 周年記念の一環 ひらかたエコ推進事業として開催

「温暖化対策に取り組んでいかなければ！みんなで取り組みましょう！」と呼びかけ、温暖化対策事業の本格的な取り組みを始めて今年で 10 年目になります。

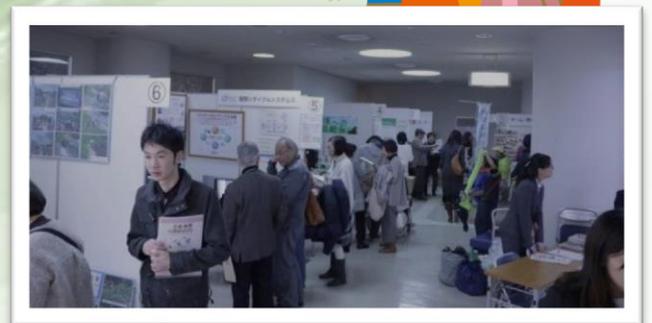
温暖化問題に対する私たちの意識・行動に、どれだけの変化がみられるようになったのでしょうか？まだまだ十分な広がりではありませんが「こんな省エネしているよ」「電化製品を見直しました」「エコノートが続けてるよ」「ごみの分別、頑張ってます」等々。市民の皆さんから様々な取り組みの声が聞こえてきます。そんな頑張りのあれこれを、ぜひエコフォーラムに来て実感してください。



エコフォーラム 2018
 日時: **2月3日(土)**
 10:00～14:00
 場所: **メセナひらかた会館 2階**



ひらかた夏の節電コンテスト2016 表彰式 2017年2月4日



ゴミ減量アイデアコンテスト

～ステキなアイデア、ユニークなアイデアがたくさん寄せられました～

昨年9月に「ゴミ減量アイデアコンテスト」を実施しました。温暖化の原因の一つであるCO₂の削減を目的とした取り組みですが、皆さん覚えておられますか？

改めて「ゴミ減量のアイデアを！」といわれてもなかなか出てこないのではと思っていましたが、79名の方々からステキなアイデアやユニークなアイデアが寄せられました。

厳正に審査が行われ、優秀賞2点、審査員特別賞3点が選ばれ、昨年11月5日に開催された「ゴミ減量フェア」会場にて表彰式を行いました。

(会報誌第51号(平成28年秋号)に関連記事記載)



環境情報コーナーに「緑のカーテンコンテスト」の受賞作品とともに展示しています

優秀賞「食べ物のリユースでゴミ減量」

家庭での食品ロスをなくすためのアイデアが様々な視点で丁寧に書かれ、物を大切にする気持ちがゴミ減量の基本であることがしっかりと伝わってきたことが評価されました。

優秀賞「専用ゴミ袋を作る」

ゴミ袋を活用した、とても実現しやすく、ゴミ減量啓発効果が期待できるアイデアが評価されました。



審査員特別賞

「各家庭に配ろう！毎月カレンダー」

毎月どのくらいのゴミがでるかを知ること、その増減を数字で毎月知らせることでゴミ減量意識を高める効果が期待できることが評価されました。

審査員特別賞「ゴミ問題の解決法」

災害時に出る大量のゴミを建材ブロックとしてリサイクルし、仮設住宅の建材として利用するという斬新なアイデアが子供らしくえがかれていることが評価されました。

審査員特別賞「こんなのあればいいな」

常設フリマスポットなどのように、だれもが「あれば便利だな」と共感できるアイデアが支持されました。





部会活動紹介

ひらかた環境ネット会議では、それぞれテーマごとに部会を結成し、主体的に活動を行っています。

環境教育部会

出前授業の依頼増に嬉しい悲鳴

「環境出前授業」による啓発活動を重点施策に掲げた新生「環境教育部会」が発足して 8 ヶ月が過ぎようとしています。この間の積極的な学校訪問の甲斐もあり、新規 2 校を含む 7 校で延べ 22 時限、受講児童 797 名に「環境出前授業」を実施する事が出来ました。4 月や 7・8・9 月は学校行事や夏季休校などで、基本的に出前授業は無いので、実質 4 ヶ月間での実績となります。この他 PTA や地域団体など、4 団体からの依頼をうけ「ひらかた環境ネットワーク会議」として行事に参加してきました。（「竹取物語の会」の協力含む）

私たちの「環境出前授業」は、環境問題やエコについて「実験」や「体験する事」を主体に授業内容を構築しています。それは、「教えられる知識」だけではなく、その知識をバックボーンにして実際にやってみて『なるほど』と思ったり『これは何故?』と疑問に思ったりする事が、環境問題やエコについての理解を深める事につながるのではないかと考えているからです。しかし一方で当部会が抱えている課題があります。それは、圧倒的にマンパワーが不足していることです。

少しでも環境の事に感心のある方、余裕時間を地域貢献に当てたいと思っておられる方、是非、「環境教育部会」への入部をご検討ください。お待ちしております。

まちづくり部会

もっと知りたいひらかたの今昔

まちづくり部会では、11月に恒例のウォーキングイベントを行いました。この活動の目的は“まち並み保存の推進”の一環として、自分たちの住んでいるまちの歴史的文化遺産や歴史的景観、新しい施設などを知ってもらい、安全で快適な住みよいまちづくりに活かしてもらうことにあります。

今回のウォーキングには 40 名もの方が参加され、秋の風情いっぱいの茄子作り古道を地域の歴史の解説を聞きながら歩きました。当日は朝までの雨もあがり、絶好のウォーキング日和となりました。地元の方の参加もありましたが、各ポイントでの歴史の解説には「今まで知らなかったことばかり」と喜ばれていました。ある場所では地域の歴史に詳しい方が飛び入りで解説いただく場面もあり、和気あいあいとしたウォーキングになりました。参加された方々からは「これからも枚方の色々な地域のことを知りたい」という声が聞かれました。



また、まちづくり部会では私たちのまちの環境保全のため、清掃活動などの“まち美化”に取り組んでいますが、今年度も地域との連携でイベント時に花のプランターを設置しました。潤いのある通りづくりの実現をめざしています。今後とも地域との関係を深めていきたいと思ひます。

次回のウォーキングイベントは田辺街道を予定しています。

自然エネルギー部会

雨の中での実験成功に拍手

→この中でLEDが点灯しました



会報誌秋号で予告していた香里団地の“こもれば水路”でのピコ水力発電の実験「どうなったかなあ…」と気にかけていた方もあるかと思います。実験は、2017年10月21日(土)、自然エネルギー学校「市内自然エネルギースポット見学」の最終見学地である香里団地の“こもれば水路”で実施しました。当日はあいにくの雨でしたが、参加者22名が見守る中、成功裏に行うことができました。周辺の商店の方々から「何が始まるのかと思ってました」との声もあり、お天気が良かったら人通りの多いこの場所は「ピコ水力発電」のPR場所として、大いに効果を発揮するであろうと確信できました。

多くの人の目に触れる場所にピコ水力発電も含めたハイブリッド型発電装置が常設されることで、市民が「枚方市は再生可能エネルギー推進都市なんだなあ」と肌で感じるができるのではと考えています。雨の中びしょびしょになってピコ水力発電装置の設置準備をし、実験をしていただいた滋賀の青木豊明先生に、紙面を借りてお礼申し上げます。



画面右、水路に設置されているのがピコ水力発電装置

S-EMS プロジェクト

環境教育推進員研修会を実施しました

2017年度の「枚方市立環境教育推進員研修会」は7月31日(月)に教育委員会の7階大会議室にて実施しました。各小中学校・幼稚園の担当教職員参加の下、「持続可能な社会の実現に向けて」～環境省におけるESDの取組～及び、「これからの学習指導要領の変革について」の2つのテーマで行いました。講師は、環境省近畿地方環境事務所環境対策課長の川崎雅貴氏、奈良教育大学准教授の中澤静男氏にお願いしました。講演は、我々の支援活動の中で折に触れ伝えていることと連動する中身で、先生方にとっては日頃耳にしていることでもありましたが、改めて講師から聞くことで、より理解が深まると共に今後の実践に活かす事へと繋がるものになったのではないかと思います。

来年度の学校訪問時に、今回の研修の成果がどのような形で表れてくるのか今から楽しみでもあり不安でもあります。一方で、我々の支援活動が、そうした不安を抱かなくてもいいような情報提供や、取り組み支援をしなければいけないと、最終タームを迎えるにあたり、気持ちを新たにしているところです。

公共交通部会

交通すごろくが新しくなりました



環境ネットワーク会議には、交通問題について学ぶために「交通すごろく」というツールがあります。このほど、この「交通すごろく」が新しくおしゃれに生まれ変わりました。大いに活用してもらえればと期待しています。



お知らせコーナー

このコーナーの情報に関する申し込み、お問い合わせはひらかた環境ネット会議事務局までご連絡ください。 ☎072-847-2286

◆◆◆エコキャップの回収報告◆◆◆

ご協力をいただいている皆様、
ありがとうございます。
ございました。



2017年春号でお知らせいたしましたが、一時休止しておりましたエコキャップ（ペットボトルキャップ）の回収を再開しています。
エコキャップ（ペットボトルキャップ）は株式会社カンポを通じ、公益財団法人ドナルド・マクドナルド・ハウス・チャリティーズ・ジャパン（世界各地で、病気とその家族が利用できる滞在施設の提供に寄与すると共に、医療・福祉への支援体制の確立に寄与）に寄付しています。

●エコキャップ	H29年3月・10月	搬入合計	318,200個
		取組開始からの累計	2,722,322個
		CO ₂ 累計	19,094.76kg

ひらかたエコフォーラム 2018 開催

日時：2018年2月3日（土）10：00～14：00

第1部 10：00～13：00 第2部 12：30～14：00

環境表彰とブースラリー等 ごみ減量講演会「災害廃棄物が語ること」

場所：メセナひらかた会館

※詳しくは公共施設に設置のチラシをご覧ください



市民共同発電所第1号機「ひらかたおひさま発電所」を譲渡

2007年にひらかた環境ネットワーク会議が社会福祉法人恵裕会光の峰保育園と、国際ソロプチミスト枚方中央とが協力して、枚方市大峰の光の峰保育園に太陽光発電設備「ひらかたおひさま発電所」を設置しました。昨年10月、設置より10年が経過し、設置時に取り交わした確認書に基づき、その設備一式を光の峰保育園に譲渡しました。

この間、自然エネルギー学校の見学地として、又園児たちへの啓発ツールとして大いに活躍してくれた「ひらかたおひさま発電所」ですが、これからも長く活躍してくれそうです。



私達を取り巻く環境は日々変化しています。最近の環境問題や、環境に関する事柄について「知ってほしい・知らせたい」情報などをこのコーナーで伝えていきます。今回のテーマは、「林業に未来はあるか ー期待膨らむ新技術ー」「脱石炭火力発電宣言 ー多くの国が石炭火力発電からの脱却を宣言ー」です。

◆ 林業に未来はあるか ー期待膨らむ新技術ー

森林は国土の保全、水源の涵養、地球温暖化の防止、木材等の林産物の供給など様々な機能を備えているが、近年木材価格の低迷や林業従事者の高齢化などにより、こうした機能が十分発揮できない状況がうまれている。

昨今の豪雨・地震等による甚大な山地被害が頻発している現状をみると、森林が適正に維持管理され保全がなされなければならないと誰もが思うところだ。そのためには森林資源の有効活用が大きな課題の一つとなる。

日本では様々な事情でこの有効活用ができにくい状況にあったが、このほど国産杉からリグニン（高い耐熱性を持ちプラスチックに似た性質の物質で、杉の成分の約30%）の抽出と、加工しやすく改質する新技術が開発されたことで、森林資源の有効活用が進むと期待される。また「夢の素材」と呼ばれるセルロースナノファイバー（重さは鉄の5分の1で、強さは鉄の5倍で杉の成分の約50%）の実用化も着々と進んでいることもあり、「中山間地域の新産業」として定着発展していけばそこから林業の未来も開けるのではないかと期待される。

◆ 脱石炭火力発電宣言 ー多くの国が石炭火力発電からの脱却を宣言ー

昨年11月にドイツのボンでCOP23（国連気候変動枠組み条約締約国会議）が開催された。その会場で、カナダと英国の主導で、フランスやイタリア、北欧諸国、米ワシントン州などを含む25の国や州などが参加し、CO₂の排出の大きい石炭火力発電からの脱却を約束する「脱石炭に向けたグローバル連盟」が発足したとのニュースがあったのを覚えておられるだろうか。

かつて自然エネルギーはコストがかかるとされていたが、その自然エネルギーも近年急速に拡大し、石炭発電と変わらなくなってきているとのこと。そうした中、高効率を理由に石炭火力発電の輸出をはかっている日本は、世界からの批判にさらされているのは自明の理であろう。

温暖化対策が大きなビジネスチャンスとなってきている状況の中、日本も本腰を入れて脱炭素社会をめざさなければならないところに来ている。

ちょっと



お得な エコライフ情報!!



eco eco eco eco eco eco eco

ごみ減量コンテストに応募いただいた中には、ちょっとした工夫やアイデアがたくさんありました。今日から私にもできることを紹介します。

新聞紙の活用形

- 雨に濡れたクツの中に丸めて入れて水分を取る。
- 生ごみの水分を取ってくれるので台所に常備。
- 丸めてちぎってガラス拭きにピカピカになるよ!



野菜くずも無駄なく調理でごみ減量

調理の時に捨ててしまう野菜の皮やヘタは、煮てだしをとり、スープやみそ汁のベースにする。

具はきざんでお好み焼きの具に混ぜ込むとムダなく使え栄養たっぷり!



六ヶ所村日本原燃見学のチャンスを得て

枚方市在住 TVさん NVさん

昨年11月に、青森県六ヶ所村にある「日本原燃株式会社」が操業する「原子燃料サイクル施設」見学のチャンスに恵まれ行ってきた。施設見学をする中で、いかに安全への配慮と対策・研究がなされているかについて、様々な説明を受けたが、PRセンターの3階から見えた無数の“風力発電”“太陽光パネル”に驚いた。「原子燃料サイクル施設」と「自然エネルギー基地」がそこに集積されているという違和感!それは紛れもなく原発に対する考え方が、どちらもCO₂を出さないというくりでと捉えられており、安全だということを、PRしているように感じてしまったのは、うがった見方だろうか……



ひとこと



この冬は昨年が発生したラニーニャ現象による大寒波となっています。みなさんには寒い寒いと言いながらも、健やかに新年を迎えられたことと思います。さて今回も前回に引き続き投稿をいただきましたのでご紹介しました。この記事を書いている時、ちょうど広島高裁が伊方原発運転差し止めの判決を下したというニュースが流れており「何という偶然!」と思い聞いていました。運転再開にしる、廃炉にしる、いずれも厳しい問題が立ちはだかっています。私たち国民がしっかりと見ていきたいものです。今年もよろしくお祈りします。☺

ひらかた環境ネットワーク会議 会報「環境ひらかた」第56号

平成30年1月1日発行(年4回発行)

発行:(特活)ひらかた環境ネットワーク会議



〒573-0042 大阪府枚方市村野西町5番1号

サブリ村野内(旧村野小学校)

電話 072-847-2286

FAX 072-807-7873

Eメール jimukyoku@hirakata-kankyou.net

ホームページ <http://www.hirakata-kankyou.net>

発行責任者:伊丹 均 編集責任者:丸井 晶子

※この会報誌は再生紙を使用しています